



第 28 回 例会 報告 (1月30日)

【 出 席 報 告 】

・会員数	54名	・出席数	32名	・欠席数	22名
・当日出席率	64.00%	・前々回修正出席率	100%		

<欠席会員>青野(賢)、原田、原、檜垣(巧)、平田、冠、吉良、小堀、桑森、松木、光藤、村上(修)、西本、尾越、竹田、田中、矢野

[免除会員] 青野、飯、松本、白石、高木

<1/16欠席補填>(1/20今治北)青野(淳)、原、原田、檜垣(俊)、檜垣(巧)、平田、川上、木村、吉良、桑森、宮本、岡本、大澤、島田、竹田、藤堂 (1/21今治南)村上(裕)

- ◇**会長報告**・1月26日(日)に近見山の清掃奉仕に参加しました。
 - ・日本興亜損害保険、損害保険ジャパンの合併に伴い1月末日で加賀覚会員が退会されました。
- ◇**加賀覚会員挨拶**・在籍中にはゴルフ・野球コンペ等で楽しく過ごす事ができました、久米前会長のおっしゃる“転勤族にも楽しいRC”でした。
- ◇**幹事報告**・2月のロータリーレートは1ドル102円です。
 - ・書き損じ葉書を日本ユネスコ協会へ寄付しますのでご協力をお願いします。期限は2月末までです。
- ◇**親睦活動委員会・ゴルフ同好会**・3月21日(金)春分の日、今治カントリークラブにて3RC合同親睦ゴルフ大会を開催します。8時54分スタート。

クラブ奉仕委員会アワー

◆**菅主浩前幹事**：「ロータリー年度はなぜ7月から。」1980年8月に第1回国際RC連合会が開催され、それ以降8月開催が恒例になりました。1912年8月の大会終了後、理事会が翌年の大会に向け会計監査を会計士に依頼したところ、翌6月30日までに済ませておく方がよいと提案され、1913年4月に開催された大会執行委員会の会合で6月30日の会計年度を最終日としたので、それ以来ロータリー年度は7月1日になりました。

◆**渡辺易廣 SAA**：SAAはSergeant At Armsの略です。イギリスのリチャード1世の身辺警護にあたったのがSAAの始まりとされ、中世から由緒ある役職です。現在コモンウェルス各国では国会・議会の守衛役の名称となっています。1910年の第1回大会がシカゴで開催された時、SAA役にセントルイスRCのウェルナー・ヘンケが任命されたのがRCでの最初とされています。会場での取り仕切りやトラブルがあった際の仲裁役を担っています。

◆**重松宗孝委員長**：「ロータリーはなぜ歌うのか。」1905年秋、晩餐例会を開きロータリーや他の問題を議論する為にテーブルについたが、話題がとぎれたり静寂が長引きそうな時にハリー・ラグルスは「さあ、皆で歌おう」と言い出したのがきっかけとなり、毎回例会で歌い続けたそうです。ロータリーソングは世界で140曲以上、日本で25曲あります。「奉仕の理想」は1935年に京都RCと東京RCの合作でした。ポール・ハリスは歌の効用として友愛を深める・気分を和らげる・音楽への関心が高まる・例会の目的と歌の内容がマッチすれば話題が盛り上がるとしています。

◆**西信正男会長**：「ポリオプラスとは。」1978年国際ロータリー理事会は3-Hプログラム(Health, Hunger, Humanity)を設立しました。1979年にロータリー財団に引き継がれ、フィリピンのパストガバナーの提案で5年間に小児600万人にワクチン投与を行う事業を提案しました。予防効果は顕著で1982年の国際ロータリー理事会で「2005年のロータリー100周年までにポリオを撲滅する」と決定しました。1985年にポリオ・プラス・プログラムを発表しポリオと麻疹、ジフテリア、破傷風・百日咳、結核予防も加えました。その後世界各地の研究所間の連携や感染症対策のノウハウが蓄積されました。そこで最近では「ポリオ撲滅事業がもたらしたプラスの遺産」の意味で使用されています。

次回例会(2月6日)

【 大分類別卓話 】

- <配偶者誕生祝> 渡辺 易廣氏 (2/9)
- <結婚記念日祝> 木村 敏明氏 (2/7) 白石 洋治氏 (2/11)
- <入会記念日祝> 飯 忠悟氏 (2/9)

[国際ホテル]